





# 目次

取調室にて .....	1
-------------	---



## 取調室にて

ずっと黙っていましたが腹を括ったというか、話を聞いて欲しいなと思ひまして……。長くなりますが、秘めていた胸の内もちゃんと言うと思います。

私は見ての通り馬鹿で太っていて醜い顔をしています。そして自分の意見を上手く言えず、無口気味で暗いという、救いようのない最悪な欠陥品として産まれました。

両親、兄弟は揃って美形で優秀なので、彼らからは理不尽な暴言、暴力を振るわれました。勿論学校でも酷いじめを受けていました。周囲は見て見ぬフリです。

私自身、努力はしたんですよ。馬鹿なら勉強、肥満ならダイエット、醜悪なら化粧、性格ならちょっとでも明るく……。死ぬ気で頑張りましたよ。でも結果は出なかった。元々の性質は呪いのようみたいです。

けど死ぬ気は無かったというか死ねなかったんです。それは単に弱虫だから。

あ、体は丈夫なんですよ。自然回復力も高いんです。あはは、神の悪戯のようですね。

私は、ゴキブリみたいな存在なんですよ。

……頭が悪く、不登校気味だった為中卒で。親から出て行けと言われてしまったので十五の時から一人暮らしを始めました。

古く汚いアパート。周りはアル中やヤンキーが住んでいるのでよく絡まれました。

バイトは三つ掛け持ちをし、朝から深夜または寝ずにバイトなんて日常茶飯事でした。

職場ではいじめられ、利用され奴隷のように扱われましたが、私にとってはそれは普通の事で。お金が入ればもういいやと思っていました。

バイトで何度もクビになったので。こんな屑でも置いてくれる事に感謝していました。

あ、そうそう。何故か両親は私に仕送りをしろと催促するので、月に五万は両親に渡していました。今まで。ほんと情けない。

……彼との出会いは、十年後です。

バイトが終わった後、夜の街中を歩いていると若い男性四人に囲まれました。うわっブサイクー！ 化け物レベルじゃん！ って絡まれました。

いつもは大きなマスクを常にしていたのですが、その時に限って付けていなかった。最悪で自分を恨み、とにかくこの場から逃げたいと思っていたら彼が助けてくれたんです。

助けてくれた後に、ちょっとお茶をする事になりました。異性から誘われたのは初めてだし、彼は知的で穏やかな人でだったので、私はすぐに恋心を抱きました。

男性からの扱いは酷いものだったんで、トラウマではあったんです。でも、彼に対して恐怖感はありません。心から優しい。人間不信な私でも、彼と関わりたいと思いました。

それからは連絡先を交換し、何回か会いました。

あれは六回目でした。彼から告白をしてくれました。私は凄く嬉しいのと驚愕と不安と、ぐちゃぐちゃな気持ちになっていたのを今でも鮮明に思い出します。

どうして私？ と聞いたら。彼は貴方は努力家で貴方となら良い家庭を築けそうだから、って。

つまり結婚前提の告白なんです。びっくりですよ。こんな底辺の女に、誠実で頭の良い彼氏が出来たんです。

正直詐欺かと思って付き合いも疑っていました。けど杞憂でした。彼は本当に素晴らしい方でした。深く知れば知るほど、私は彼に愛を積もらせていました。

そして一年後、結婚をしました。

ただこの結婚が地獄の始まりだったんですね。

……。すみません、涙を拭きます。

あ、勘違いしないでください。彼、旦那からは一度も暴力を受けた事ないし、罵倒もされたこともないです。

旦那は朝から夜まで働き、土日は一緒にお出かけをしたり私の好きなものをたくさん買ってくれました。

働きたくないなら働かなくて良い。家事もしんどいなら、たまには休めばいい。ずっと辛い思いをしてきたんだから、その分楽に生きて良いんだよ。

そう言って抱きしめてくれました。

……。幸せでした。

ただ私と旦那には一つ、問題がありまして。

旦那は子供が欲しい。それは付き合い前から知っていたというか、結婚イコール子供というのが一般的ですよ。この時代古い考えかもしれませんが。

私は欲しくなかった。

だって私から産まれる子なんて絶対に欠陥品じゃないですか。彼の血を受け継いだとしても、少なくとも私の血も入る。

そして私自身、愛情不足ですよ。自分の欠陥品を育てるのは苦痛。産む前から分かっている。

旦那は理解した、ではなく、君が産みたいと思うまでは触れないようにすると言いました。

この言葉、刑事さんならどう捉えます？ 私は産まなきゃ捨てられると感じました。

今思うと、被害妄想ですよ。でも両親に見捨てられた私にとっては……。

……三年後。私は産みました。

難聴の持つ、私に似た女の子。

絶望的でした。旦那はそれでも喜んでいましたが、私は死にたくなりました。

温度差って怖いですよ。

……。旦那は育児を率先してやりました。仕事が終わった後、休みの日も。旦那は私にも子供にも愛情を惜しみなく与えてくれました。

感謝と辛さ、でした。

旦那がいつも居れば、私は何とかなってました。

けどそんなの無理でしたよ。旦那に育児を任せ、私がパートに出るという形を取ろうとはしたんですが学も容姿もない、雰囲気は暗い。前はなんとか受かっていたのに、この頃は面接落ちばかりでした。

メンタルに傷がつき、結局育児に戻る羽目になりました。

……。それにしても障害者の持つ母親はすごいですね。一生懸命に育てようと必死になって。

私なんて難聴なだけなのに。子供は旦那に似て頭が良いし。私ではなく、他の人が育てたら……。

勿論策を取りましたよ。ですが全部駄目でした。

旦那は育児に率先してるんだから、旦那に任せっきりになれば良いじゃない。貴方は楽になれば良いじゃない。

刑事さんもそう思いましたよね？ 言わなくても分かりますよ。でもね。任せっきりしたら、私は何？ 私の存在意義は？

仕事もする、家事もする、育児もする。

ああ、貴方もですか。心が病んでるのだから任せても良い、旦那は貴方が居ればそれだけで良いんだ。って。

過去の話ちゃんと聞いてくれましたか。私は役立たずとしてずっと、生きてきたんです。

何も出来ない能無しの上に、母親という肩書きが無くなれば、ただの塵じゃないですか。

旦那の足を引っ張るしかしてこなかったんです。いつも、いつも、いつも、俺に任せろって。

笑いますよね。今まではその優しさに甘え倒してたくせに、子供が出来てからは甘えが罪に変わったのです。

なんせ、私の子ですからね。育児放棄をするのは母親として失格でしょ？

……。難聴って、とても複雑なんですよ。私の発言はほぼ聞こえない状態です補聴器を使用しても。

ゼロさい、いっさいまでは何とかなりました。

二歳からです。頭が良いだけに言葉を話すようになり歩いたり、立ったりするようになりました。

まあ察しがつきますよね。動き回り話すから、私はその都度、瞬時に行動しないといけなくなりました。立ち回りが上手くいかないと子供は怪我をするし、機嫌が悪くなりますからね。

不器用で馬鹿な母なので、子供のしたい事欲しい事が全然分からなくて。旦那から教わるんですが、それでも全くだったんです。

旦那は無理をするなど何度も言ってくれたんですが、大丈夫だよ。と、作り笑いをしていました。

人間不信により、ある意味作り笑いが上手くなっていたので欺けました。まああの頃旦那は仕事関係で多忙気味だったので、旦那自身も余裕が無かったのでしょうかね。

……。ストレスの爆発はほんと、いきなりでしたよ。

よく爆発しそうっていうけど、本当の爆発は自然的なんですよ。あの子を殺した後には思い知りました。

気がつくと我が子の首をしめ、殺していました。どうしてそうなったのか記憶に無い

んですよね。だけど私の手は間違いなく子供の首を絞めていたんです。

子供の口からは泡、目を見開いて……。

あれは夏の、蝉が鳴き終わる前でしたね。

……。どうして旦那さんに助けを求めなかった？

ですから、私の存在意義が無くなるのが嫌だったんです。あんな思いをするなら、無理にでっ、……。変なのは分かってますよ。そんなの貴方達に言われなくても、私が一番、一番……。

だけど、あの時の私は必死だったんです！！ どうしたら旦那に嫌われないか！ 自分を壊さないですむか！

でも。でも、でも！！ 私の頭じゃ無理だったんです！ みんなが考えれるような事は私には無理だったんです！！

変にプライドが高くて見捨てられ不安が強くて、なのに自分勝手に自分優先でストレスに弱くて甘くて馬鹿で塵で……！

……。気付きましたか。よくよく考えると、全ては旦那に捨てられないように頑張った結果なんですよ。

旦那を愛していました。我が子よりずっと。自分の子を一度も可愛いなんて思った事ないです。特に我が子の顔、大っ嫌いでした。

あの子は旦那との愛を繋ぎ止める為の道具に過ぎないんです。

……。いえ最低です。泣くのは反則ですよ。

ほらやっぱり自分が可愛いんですよ。愛されなかったから、自分だけは自分を愛そうとしたんです。

これがこの様です。

……。旦那は私を責めてないみたいですね。寧ろ自分のせいにしてる。はやくまた、一緒に暮らそうよ。とかも言ってるんですよ。

皮肉な話。旦那とより、愛が深まったように感じます。

刑事さんも私に同情してますね。あはは。駄目ですよ、同情しちゃ。甘えてしまいそうになりますよ。

……。確か次の夏の、蝉の鳴き終わる頃に服役が終了するんですけど。

基本的に外には出ないから、空がちゃんと見えるんでしょうね。蝉の鳴き声もはっきり。街も人も。

その時。私は何を思うのかな。



---

青の空

---

著 千里

制作 Puboo  
発行所 デザインエッグ株式会社

---